

ごあいさつ



阿部 宏 慈

山形大学男女共同参画推進室長

ここに、平成28年度山形大学男女共同参画報告書をお届けいたします。昨年、採択されました文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）も2年目に当たり、同事業の活動報告も合わせて行っております。

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）は、他機関と連携して6年間実施することにより、女性研究者の研究力を向上させ、女性研究者が増えること、上位職者が増えることを目的としております。山形大学が代表機関となり、大日本印刷株式会社研究開発センター及び山形県立米沢栄養大学との連携で進めております。今年度は、女性研究者が代表となる共同研究が10件成立し、大日本印刷研究開発センターによるサービスデザイン・ワークショップもフェーズ3へと進んでいます。その中には特許申請や技術提携等、実用化に向けた動きも生まれてきています。各種支援制度の利用者ものべ54名（平成29年3月時点）にのぼり活用いただいています。また、学生・大学院生等を対象としたキャリアセミナーや連携機関への交換留学を行い、研究者の裾野拡大を図っています。

山形大学男女共同参画基本計画が策定されてから7年が経過いたしました。基本計画に基づき、各部局等による取組みも着実に進めていただいておりますこと、感謝いたします。

今年度は、医学部に病児保育室がオープンいたしました。早速、開室翌日には利用があったということです。また、米沢キャンパス託児サポーター制度もスタートし、土・日曜日に行われる大学入学試験日の一時預かりも可能となりました。また、今年度初めて附属学校の先生方とのワーク・ライフ・バランス懇談会をもちました。

以上、本報告書に紹介しておりますので、是非ご覧ください。

男女共同参画基本計画が設定した計画期間も後3年を残すばかりとなりました。女性教員比率は当面の目標であった15%を達成し、次の目標である17%（2021年）を経て、将来的に25%まで引き上げることとしております。今後益々、努力を加速させて参りますので、関係各位のお力添えをいただきたくよろしく願いたします。